

安全講習会レポート

2011.6.6 遠隔教育研究センター

概要:

マテリアルサイエンス研究科で必要となっている安全講習会の様子を収録し、コンテンツ化した。これにより10月入学などの学生に対しても教材として活用することができる。作成したDVDは学術協力課に納品した。

スケジュール:

日時:平成23年6月6日(月)9:20~15:55

場所:マテリアルサイエンス研究科講義棟1階 小ホール

収録:13:30-14:30 海老谷教授:X線の取り扱い

対象者:本学の教職員、研究員、学生

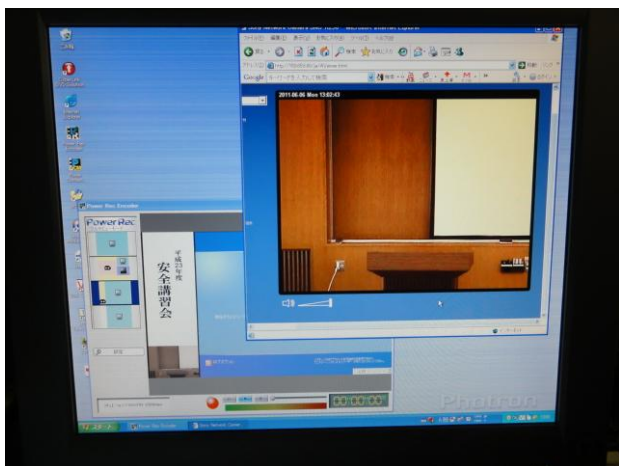
(必修者)マテリアルサイエンス研究科 M1 及び D1(未受講者)
教育研究上、安全管理に関し受講することが必要な教職員

講習内容:

- | | | |
|-------------------|--------|-----------------------|
| 9:20-9:25 | 松村研究科長 | 趣旨説明 |
| 9:25-10:25 | 三宅教授 | 廃棄物処理, 薬品の取り扱い, ガラス細工 |
| 10:25-10:45 | 岩崎准教授 | 低温液化ガス, 高圧ガスの安全な取扱い |
| 10:45-10:55 | (休憩) | |
| 10:55-11:15 | 山田教授 | 共通装置の取り扱い |
| 11:15-11:50 | 水谷教授 | 工作・運搬機器の取り扱い |
| 宇野主任技術職員 | | |
| ----- (昼休み) ----- | | |
| 13:30-14:30 | 海老谷教授 | X線の取り扱い |
| 14:30-14:45 | 小矢野准教授 | レーザーの取り扱い |
| 14:45-15:25 | 鈴木准教授 | 半導体プロセスの安全 |
| 15:25-15:55 | 塚原教授 | 生物材料の取り扱い |

講習会の様子:





平成23年度
安全講習会

放射線障害防止教育 Education for Handling of X-ray
X線の取扱い (安全手帳第10版 pp. 93 - 97)
Handling of RI and Radiation
海老谷 幸喜 Kohki Ebitani

1895年のX線の発見以来、人類と放射線の関わりは発展し、現在の我々の生活に欠かせないものとなっている。しかし、取扱いを間違えると、本人のみでなく、多くの人々に取り返しのつかないダメージを与える。そのため、放射線を取り扱うためには、放射線作業従事者としての登録(資格)が必要である。

Since discovery of X-rays in 1895, the relationship between humanity and radiation has continued to grow, and the use of irradiation has become indispensable to our modern life. However, incorrect use of radiation can cause irreparable damage not only to the user, but also to a large number of other people. Therefore, it is a duty of people who handle a radiation generator and radioisotope when doing their work. They are requested to be registered as radiation workers.